



今月のシーニック・バイウェイ



深島からの風景(佐伯市蒲江深島)

大分県最南端の離島・深島の唯一の食事処「深島食堂」からの景色です。去年の夏は、「猫の島」として多くの観光客で賑わいました。夏だけではなく、冬もきれいな海とニャンコがお待ちしています！！

地域資源（宝）の紹介コーナー



地域で活動する人



◆橋本 房江(ハシモト フサエ)さん

～NEW'Sの会代表～

食生活改善推進協議会活動(食推活動)やおばちゃんバイキングを通して、地域の食と健康活動を行ってきた橋本さん。地区の民生委員やボランティア連絡協議会蒲江支部代表を務められています。

身体を動かすことが好きで以前は、エアロビクスにも取り組まれました。地元の人々の健康寿命を延ばしたいと、佐伯市の健康運動普及推進員をされ、健康体操の普及や食推活動の料理教室での減塩食の指導に力を注いでいます。生活の基本である食と健康に尽力されている橋本さん。ストレス解消は、読書とお友達と行くカラオケです。読書は、もちろん地元蒲江出身の芥川賞作家小野正嗣さんの作品も楽しまれているとか。また、カラオケのお好きな曲は、中村美津子の「酒場ひとり」。取材の前日もカラオケに行かれお友達と楽しまれたそうです。



橋本 房江さん

NEW'Sの会とは：

地域の女性達が、西野浦の入津湾を舞台に得意の料理やおもてなしで来訪者との交流を図り、地域の活性化につなげていこうと結成。地産地消によりふるさと産業を興し、雇用の場の創出を目指しています。

穏やかな雰囲気の中、芯の強さを感じさせる橋本さん。「地元外で暮らしている地元出身の人が、定年後に蒲江で暮らしたいと思える場所になりたい。そのために、健康で元気で地域活動に貢献したい。」と、澆刺と語って頂きました。



歴史・文化・自然・景観資源



◆弁天島天満社の社叢(シャツウ)(佐伯市蒲江) 蒲江ICから車で5分

弁天島天満社は、宝永(ホウエイ)7年(1710年)11月の創建であり、合祀されている厳島神社は、正徳(ショウトク)4年(1714年)の創建です。本来弁天島はその名のとおり島でしたが、昭和20年代の埋め立てにより、今は陸続きとなっています。

この社叢は、スダジィ=タイミンタチバナ群集のイスノキ典型林であり、人里近くでこのような林が残されているのは極めて希です。

高木層には、イスノキの他、コジイ、タブノキがあり亜高木層は、ツバキの他、ヤブニッケイ、アラカシ、アコウがあります。低木層は、クチナシ、イヌビワ、イズセンリョウ、トベラなどがあり、草木層では、ベニシダ、チジミザサなどがあります。



弁天島天満社の社叢

(旧蒲江町教育委員会立て看板より)



◆鯛(タイ)(佐伯市蒲江)



新鮮なマダイ!

皆さんご存じの鯛。日本列島全域に生息しており、主に、釣りや定置網などで獲られています。また、佐伯市では養殖も盛んに行われていて、年間を通して出回っています。旬は秋から春と言われ、特に1月下旬から3月は産卵期を迎え、美味しい季節になっています。

昔から高級魚の代名詞と言われており、刺身、煮つけ、塩焼き、寿司など色んな料理に合います。この時期の鯛を今一度ご賞味ください!

◆ほろ酔いカンパチ(延岡市北浦町)

「ほろ酔いカンパチ」はエサに焼酎の搾り粕を混ぜて育てた養殖魚です。通常のカンパチに比べ、臭みが少なく、身が透き通っているのが特徴です。

通常捨ててしまう焼酎搾り粕を再利用することで、環境にやさしく配慮したうえに搾り粕の廃棄コスト、養殖コストの低減を図り、さらに魚自体の付加価値(臭み、見ばえ)を向上させ大変に美味しいお魚となりました!



ほろ酔いカンパチ
(出典：延岡市役所ホームページ)

◆へべすブリ(延岡市北浦町)

柑橘類の『へべす』の絞り粕を餌に混ぜ、魚の臭みをおさえた、北浦町近海で育った養殖ブリです。

刺身やカルパッチョで食べるのがおすすめです。

寒い今の時期が旬ですよ! (^o^)



へべすブリのお刺身



お知らせ

◆今年も開催します！！「第19回北浦さくらマラソン大会」

桜並木の旧国道をコースに「**第19回北浦さくらマラソン大会**」が**4月2日(日)**に開催されます。
申込〆切日が**2月23日(木)**までとなっておりますので参加申込はお早めに！！



旧国道388号の桜並木

スタート・ゴール: 下阿蘇ビーチ芝生広場(須美江ICから車で5分)
【参加申込・問い合わせ先】北浦さくらマラソン大会事務局
〒889-0301 延岡市北浦町古江1947-1 延岡市教育委員会北浦分室内

TEL 0982-45-3040 FAX 0982-45-4110

mail: kyouiku@kitaura.city.nobeoka.miyazaki.jp



お知らせ

◆祝 完成まんぼうロード！

「ようこそ竹野浦河内(タノウゴウ)へ」

平成28年12月21日(木)、県道西野浦河内線の河内湾道路の海岸堤防に、河内小学校(ゴウチショウガッコウ)の児童32名が描いた「壁画」が完成し。通り初め式が行われました。

この「壁画」は平成13年度に一度設置していますが、今年度河内小学校の閉校に合わせ、堤防の残り100mを利用し新たに作成しました。児童が思いを込めて描いたすばらしい「壁画」がいつでも見られますので、是非ご覧ください。



まんぼうロード

シーニック・バイウェイとは:

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる138のルートがあり、九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。



日本風景街道

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆
URL: <http://nippon-kaigan.kirara.st/>

● 旬の情報を毎月発信中 ● 皆様からの情報提供をお待ちしております。 ●

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19 (佐伯市観光協会内)
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489